

ビワ生育情報

第 4 報
千葉県農林水産部
令和 7 年 1 月号

本年は出蕾期が平年より遅く、樹の中でばらつきも大きかったため、1月6日時点で、「楠」、「大房」、「田中」の開花は平年より遅く、開花が早い花房と遅い花房のばらつきも大きくなっています。

花房の発育

ビワの開花期は表1に示した。暖地園芸研究所の開花始期は、「楠」が11月12日で、平年および前年より5日遅かった。「大房」が11月26日で、平年より2日遅く、前年より7日遅かった。「田中」が11月14日で、平年より2日遅く、前年より4日遅かった。開花盛期は、「楠」が12月1日で、平年より6日遅く、前年より13日遅かった。「大房」が12月25日で、平年より8日遅く、前年より20日遅かった。「田中」が12月13日で、平年より12日遅く、前年より20日遅かった。開花終期は、「楠」が12月28日で、平年より5日遅く、前年より21日遅かった。「大房」、「田中」は1月6日時点で開花終期に至っていない

出蕾期（花房発現期）は3品種とも平年より遅く、樹の中でも出蕾のばらつきが大きかった。また、10～12月上旬の平均気温が高く推移したため、早い時期に出蕾した花房の開花は早まったが、遅い時期に出蕾した花房の開花は遅く、開花期のばらつきが大きくなっている。

表1 ビワの開花期（暖地園芸研究所）

品 種	開花始期（月．日）			開花盛期（月．日）			開花終期（月．日）		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	11.12	11. 7	11. 7	12. 1	11.25	11.18	12.28	12.23	12. 7
大 房	11.26	11.24	11.19	12.25	12.17	12. 5	—	1.27	12.25
田 中	11.14	11.12	11.10	12.13	12. 1	11.22	—	1. 6	12.14

平年：1994年～2023年の30年間の平均

開花始期：花房の10%が開花、開花盛期：花房の50%が開花、開花終期：花房の90%が開花

令和6年12月の気象

令和6年12月の半旬別の気象を表2に示した。平均気温は第1、第2、第6半旬は平年より高く、第4、第5半旬は平年並み、第3半旬は平年よりも低かった。月平均気温は9.6℃で、平年より0.6℃高く、前年より0.8℃低かった。

氷点下日数は6日であった。最低極温は第1半旬は平年より高く、第2半旬は平年並み、第3～第6半旬は平年よりも低かった。

降水量は全半旬で平年より少なく、月合計は5mmでほとんど降水がなかった。

日照時間は第1～第5半旬は平年より多く、第6半旬は平年並みであった。月合計は223時間で平年の135%、前年の113%であった。

表2 令和6年12月の気象(アメダス館山市)

半旬	平均気温（℃）			氷点下日数（日）			最低極温（℃）		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	13.0	10.8	8.9	0	0.1	0	4.7	3.6	2.1
2	10.8	10.0	12.3	0	0.2	0	2.6	2.2	4.4
3	8.2	9.2	13.2	1	0.5	0	-0.6	1.9	6.9
4	8.2	8.6	11.7	2	0.8	0	-2.2	0.7	1.6
5	8.3	8.0	7.2	2	0.8	2	-0.7	0.7	-1.7
6	9.4	7.5	9.1	1	1.7	0	-1.6	-0.7	0.1
平均/計/最小値	9.6	9.0	10.4	6	4.1	2	-2.2	-0.7	-1.7

半旬	降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	0	20	1	43	25	37
2	0	17	1	40	25	42
3	1.5	13	34	32	26	20
4	0	12	1	34	27	24
5	3	13	0	37	28	38
6	0	15	11	38	35	37
計	5	89	46	223	165	198

平年：1991～2020年の30年間の平均

最低極温：各半旬あるいは12月中に記録した最低気温

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

2月の作業

1月中旬～2月上旬は1年間で最も寒い時期である。本年の開花状況は平年よりも遅れているため、寒害を受けるリスクは平年より低いと考えられるが、寒害を受けやすい圃場や品種等では、十分注意し、必要に応じて被覆資材で樹体を覆ったり、園内をヒーターにより加温する等の対策を行う。

苗木の植え付け

ビワの苗木の植え付けは、発芽直前で根の活動が緩慢な2月中下旬が適期である。苗木は根鉢を崩さないように、土を付けたまま移植すると植え傷みが少ない。

植穴は直径1～1.5m、深さ40～50cmの穴を掘り、穴の底に完熟堆肥を入れる。土の埋め戻しは土が落ち着くときの沈下を見込んで地表面から30～50cm高く盛り土する。定植後は苗に支柱を添え、十分にかん水した後、盛り土が乾かないように敷きわらをしておく。

がんしゅ病の予防散布

がんしゅ病は一度発生すると防除が難しいため、感染防止を目的として、春枝の新葉展開期の3月上中旬に薬剤散布を行う。薬剤散布は幹、枝及び葉に薬液が十分付着するように行う。薬剤散布に当たっては、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に従う。

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室
電話 0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>